

令和8年  
5月下旬  
発売!

基準類の改定により、「その他」が「諸経費」に名称変更!

対象は(労)と(労以外)の2種類になり、その率は

全工種一律で(労)42~52%、(労以外)9~13%に。



基準類の**大幅改定**にともない  
最新の**積算方法**と単価を一冊に凝縮!

本書の基準類

公共建築工事共通費積算基準 令和8年改定に準拠  
公共建築工事標準単価積算基準 令和8年改定に準拠  
令和8年3月から適用の公共工事設計労務単価

## 電気設備工事 積算実務マニュアル 2026

B5判 720頁 定価8,800円(税込)

ISBN 978-4-911471-03-6

### 2026年の特長

- 設計労務単価は、14年連続上昇! 「電工」は前年度比、平均約6.7%アップ。
- 基準類の大幅な改定により、「その他」から「諸経費」へ、(労)・(労以外)の中間値ですべての複合単価に対応!
- 照明器具は、標準仕様書令和7年版の改定に対応し、ベースライト高効率形やダウンライト高天井用の一般形など多数追加掲載。
- 配線工事の施工箇所「二重天井・二重床・ピット・トラフ内配線」へ、材料所要量の改定に合わせて複合単価も変更。

\* ご購入は加盟組合へお申込みください。

最寄りの大型書店・弊社ホームページでの直接購入でもお買い求めいただけます。